

総合的な学習の時間「上丸子すてき応援団」では、学校の「すてき」を探しました。「本のたくさんある図書室」や「楽しく遊べる校庭」などの施設面ではなく、「誰かのために頑張っている人」などの「すてきな人」にスポットを当てて考えました。自分たちで考えた後、「校長先生ならもっとすてきな人を知っているかも」と校長先生にインタビューの依頼を行いました。後日、校長先生から、自分たちが知らなかった「すてきな人」を紹介され、「自分たちの知らない学校を支えてくれている人がいるんだ」と知り、その人について「もっと知りたい。インタビューしよう」と思いをもつ様子が見られました。

算数「円と球」では、玉入れを公平に行うには、どんな並び方がいいのか中心となる位置から並び方に思考を巡らせ、「四角形ならみんな同じ距離になりそう」「もっと増やしていったら〇のようになるよ」と気づき、学習を進めました。円の形をした紙を操作しながら性質について探り、「半分に折って、何回か同じように折ると折り目が重なったところが中心になる」など、円の性質について活動を通して学びました。コンパスでは、円や色々な模様の作図に取り組みんだり、長さを写し取って比べたり楽しみながら活動しました。球では、模型を使って、「切り口の形がどれも円になっている」「切り口が一番大きいのはちょうど半分に切れたとき」と実感をもって取り組みました。

## 3年生のようす

理科「太陽とかげを調べよう」では、クラスの友達とのかげつなぎ遊びの中らかげの不思議や気になることを見つけて、「かげはどんなところでできるのかな」「なぜ時間が経つとかげの向きが変わるのかな」と課題を設定しました。実験では、初めて使う遮光プレートで見る緑色の太陽に子どもたちは大興奮でした。授業の後半では自分たちで計画を立てて、時間を決めて紙にかげを写し取り、かげの動きを観察しました。観察の結果を見比べて、「どのグループも西から東に動いてる。」「太陽が動くとかげもいっしょに動くんだ。」と、かげのひみつに気付くことができました。

学活「図書館 調査隊！」と国語「図書館たんてい」の学習では、総括学校司書の横内先生に、百科事典の調べ方について教えていただきました。図鑑や科学読み物には慣れ親しんでいますが、百科事典を活用する機会は少なかったようです。学習を通して、「百科事典は国語辞典と調べ方が同じだ」「国語辞典より言葉がたくさん載っている」「全巻で1冊の本なんてすごい」と、新たな本との出会うことができました。3年生では、社会科や理科、総合的な学習の時間などで調べ学習が始まっています。この学習を生かして、進んで調べ学習に取り組んでほしいと思います。

